



# はなのき

神坂小学校だより No.12 2026.2.24



閉校まで、あとひと月・・・

校長 伊藤 博章

神坂小学校の教育目標は「かしこく なかよく たくましく」です。そして、目指す学校像は、「期待の登校、満足の下校ができる学校」です。それを踏まえて、「自己肯定感とおもいやりの心を育む」ことを重点とし、その姿の具現に向けて、次の3つのことについて取り組んできました。

1つ目は「自分の考えをもち、伝え合う力の育成」です。

自分に自信をもつためには、「考えを伝えることができた」「考えが分かってもらえた」という体験をたくさんすることが必要です。そこで相手意識をもった話し手・聞き手となって「伝え合い」ができるよう、各ステージごとに重点項目をつくり、授業や集会で意識付けを図ってきました。

2つ目は「ぽかぽか言葉を通しておもいやりの心を育み、温かい人間関係を築く」です。

相手と気持ちよく関わり合い、信頼関係を築くには、自然にあいさつを交わし合い、「ぽかぽか言葉」を使ったポジティブなコミュニケーションがとれることが大切です。同学年はもちろん、異学年と関わり合う場面もたくさん設定しながら、互いが気持ちのよい声かけを行い、信頼関係を高めました。

3つ目は「行事や日常を通して、ねばり強くやりぬく力を身に付ける」です。

職員集団が、指導と認めの評価をタイムリーにしているおかげで、子供たちはずいぶんと成長し、自信を高めていると感じる姿がたくさん見られた1年間でした。特にリーダーとなる6年生の運動会や修学旅行、文化祭などの大きな取組を通しての成長がめざましく、下級生の手本や憧れになっています。

いよいよ残りひと月になりました。残りの学校生活においても、更なる感動体験を積み重ね、失敗を恐れることなく「できるようになったこと」を増やししながら、心も体もよりたくましく成長することを願って取り組んでいきます。

## 「藤村生誕祭」で6年間の積み重ねを披露しました

2月17日の火曜日、馬籠宿で「藤村生誕祭」が行われました。藤村先生の生誕154年だそうです。今年度も三味線演奏の依頼を受け、6年生が演奏をさせていただきました。「こきりこ節」からはじまり、「木曾節・津軽じょんから節」を演奏した後、アンコール曲の「楽しい磯野家」「花笠音頭」で締めました。この藤村生誕祭で、神坂小学校の代表として演奏するのは最後でしたが、多くの方々に聴いていただき、たくさんの大きな拍手をいただきました。また一つ、自信を高めることができた素敵な時間となりました。

